

(株)ニッポン 第3四半期連結累計期間の業績および通期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	241,779	112.0	8,686	112.6	11,376	118.3	7,634	122.8
2021年3月期第3四半期	215,805	—	7,711	—	9,614	—	6,217	—

(注) 2021年3月期第3四半期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。なお、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期比率は、遡及適用が行われたため記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間においても、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底しながら、お客さまの安全・安心、従業員の健康を最優先とし、国内外全ての製造拠点で生産活動を継続することで、食品企業としての社会的責任を全うする事業体制を維持してまいりました。

また、当社グループは、コスト削減や販売の強化を軸に既存事業をより強固なものとするため、今後成長が見込まれる分野に対しては積極的な投資を行い、未曾有の事業環境下においても柔軟に取り組むことで事業基盤強化に努め、多角的総合食品企業として持続的成長を図っております。

その中で、当社は、愛知県知多市の用地への新たな製粉工場建設を決定いたしました。併せて神戸甲南工場の設備増強を行い、生産体制の再編を進めてまいります。新工場では、生産性を高めるとともに、SDGsに配慮した最先端の製粉工場を目指します。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、2021年7月7日に発生したサイバー攻撃によるシステム障害に係る諸費用として特別損失を計上したものの、冷凍食品類が家庭内での内食需要の高まりにより引き続き好調に推移しているほか、業務用食品及び中食事業の需要が前年の低迷から想定以上に回復したことで、売上、利益ともに前年同期を上回り、売上高は2,417億7千9百万円（前年同期比112.0%）、営業利益は86億8千6百万円（同112.6%）、経常利益は113億7千6百万円（同118.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は76億3千4百万円（同122.8%）となりました。

< 連結業績予想と当期の配当 >

(%表示は対前年同期比率)

2022年3月期 通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	320,000	111.0	11,100	107.0	12,700	100.3	9,000	104.2

今後のわが国経済は、新たな変異株の発生により、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せず、また原材料・原油価格の高騰や為替相場の動向などによるコスト上昇が業績へ影響を及ぼすことも予想され、当社グループを取り巻く事業環境は今後一層厳しいものになっていくと見込まれることから、現時点においては、2021年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。

尚、期末配当につきましては、当初予想より2円増配し、1株当たり20円とさせていただくことを予定しております。これにより、年間の配当予想は38円となり、4期連続の増配となります。

以上